

## 第2回 福井県LNGインフラ整備研究会 課題検討WG 概要

1 日 時 平成28年10月14日（金）13：30～15：00

2 場 所 都道府県会館 401会議室

3 議 題 LNGインフラ整備に関する検討状況の報告等について

### 4 概 要

- ・ 最初に、資源エネルギー庁から総合資源エネルギー調査会基本政策分科会ガスシステム改革小委員会で議論がなされた、広域的なパイプライン整備に向けた検討状況の報告があった。新潟－多賀ラインを含めた7ルートがモデルルートに選定され、費用便益分析が行われたほか、今後の天然ガスパイプライン整備に関する指針が示された。

さらに今後、必要なパイプライン整備を具体的に進めるための仕組みとして、専門的知見を有する会議体を設置するという方向性について説明があった。

- ・ 次に、国土交通省から浮体式基地の国内事業化を目指すため、津波等の対応指針の策定を目的とした調査の説明があった。

今年度は設定条件を変更したシミュレーション調査等を実施し、その結果を踏まえた津波等の対応指針の策定を進めるとの報告がなされた。

- ・ 福井県からは、今年度実施予定のLNGによる産業振興に関する調査の概要(案)について説明を行った。

- ・ 最後に、今後もLNGインフラ整備の具体化に向け、引き続き浮体式基地の国内事業化を目的とした調査や、広域的なパイプライン整備を進めるための取組みを進め、関係者が今後も協力して検討を行っていくことを合意した。